

新たに85人の仲間が入職 今後の活躍に期待大!



みみはらグループ 新入職員オリエンテーション

4月1日・3日・4日の3日間、みみはらグループ新入職員オリエンテーション・就職式が開催されました。

当日はお天気にも恵まれ、桜が満開の中、今年新たに85人の仲間が、みみはらグループに加わりました。初めの方は緊張した面持ちでしたが、グループワークやアイスブレイクを経てすぐに打ち解け、早くも同期の繋がりを持てたようでした。



みみはらグループの理念や方針、歴史、社会人としてのマナーや心構えの講義を聞き、これから働く自分を想像し、しゃんと背筋を伸ばした姿には期待の気持ちが膨らみます。



アイスブレイクの様子

(新入職員オリエンテーション) 実行委員会事務局

医療安全・感染対策に関する講義では患者さんや自分自身の安全を守るため、実際に防護具（エプロンや手袋）をつけ、真剣に感染予防の学習に取り組み、正しく理解することができました。

また、友の会のたまり場と会場をWebで中継し、会員の声や活動している様子を見て、地域の健康をとにも作っていくこと、自分もそこに参加することをよりリアルに考えることができました。

さらに、本年度は「やさしい日本語」を研修に取り入れられました。日本語を母語としない方や高齢者など誰にでも情報を正しく伝えられるよう、その使い方をロールプレイングで学び、医療現場でも使えるよう身に付けました。

最後に1年間の目標を立ててオリエンテーションを終了し、各々の職場へ配属されました。今後の活躍が楽しみな新入職員の方々の皆さんです。

さらに、本年度は「やさしい日本語」を研修に取り入れられました。日本語を母語としない方や高齢者など誰にでも情報を正しく伝えられるよう、その使い方をロールプレイングで学び、医療現場でも使えるよう身に付けました。

最後に1年間の目標を立ててオリエンテーションを終了し、各々の職場へ配属されました。今後の活躍が楽しみな新入職員の方々の皆さんです。

若手事務職員の振り返り発表会

着実な成長と 熱い思いを感じた

同仁会では、若手事務職員の「振り返り発表会」を開催しています。発表の対象は、就職から1年目の新入職員と、就職から2年目・3年目の若手職員です。1年目職員には7月、11月、3月の年3回、2年目・3年目職員には年度末の3月に、日頃の業務や学習活動などからの学び、今後の課題について報告してもらいます。

年度末の3月の振り返り発表会は、今年一年間の総合的な発表の場として、1年目職員には「1年間の目標と課題その到達、2年目・3年目職員には「自分の仕事を通してコロナ禍で学んだこと、1年目事務職員へのメッセージ」のテーマで、振り返りを報告してもらいました。



発表の様子



1年目職員の発表は、回を経るごとに報告内容やスライドの見せ方が上達し、声も自信を感じさせるものとなり、着実な成長が感じられました。また、報告内容も、失敗や反省点だけでなく、自身の強みも発見できており、前向きな思考・姿勢が感じられました。

勢で業務に当たれている姿が確認できました。

2年目・3年目職員は入職からこの間、コロナ下での勤務を余儀なくされてきました。交流を含む様々な行動制限が課され、不安やストレスを抱えてきたものと思われま。しかし報告内容は、発熱外来での患者対応、オンライン会議など、従来にはなかった業務や取り組みを自分のものにし、成長したものとなりました。非常事態でも懸命に業務に向き合い、努力してきた姿勢が感じられる内容でした。また、2年目職員から1年目職員へのメッセージは、「先輩方の実体験からの言葉で、熱い思いが伝わってくる」心に響くメッセージとなりました。

若手職員からの報告の後には、それぞれの職場長から講評をいただきました。熱い指摘あり、時に笑いあり、部署や職位を越えて若手職員の成長を共有できる取り組みになっています。事務職員には、診療所の会計受付窓口から病院の地域連携部門、法人本部、組織部など、様々なフィールドがあります。それぞれの場で事務職員が活躍する姿を、全体で共有できる場として「振り返り発表会」を継続発展させていきます。